

「提言型政策仕分け」 提言を受けた各府省の取組

担当府省名	国土交通省				
番号/テーマ	A4-2	分野名: 公共事業: 災害に強い国土づくり			
提言	<p>論点①: (治水、海岸関連)</p> <p>論点②: (災害に強い国土づくりの議論にあっても、港湾事業については、) 平時における事業効果や、「選択と集中」の考え方を踏まえて取り組むべき。</p>				
個別項目	検討状況		実施スケジュール	既に実施済/達成した事項	詳細資料
	検討方法	検討の方向性			
<p>論点②: (災害に強い国土づくりの議論にあっても、港湾事業については、) 平時における事業効果や、「選択と集中」の考え方を踏まえて取り組むべき。</p>	<p>港湾事業においては、これまで、平時における事業効果や「選択と集中」の考え方を踏まえ、国際コンテナ戦略港湾施策、国際バルク戦略港湾施策、事業評価等に取り組んできたところ。引き続き、交通政策審議会港湾分科会事業評価部会、国際コンテナ戦略港湾検討委員会、国際バルク戦略港湾検討委員会における審議の内容を踏まえ、取り組みを進める。</p>	<p>部会や委員会において、平時における事業効果や、「選択と集中」の考え方を踏まえた港湾事業の取り組みについて、議論を行う。</p>	<p>会議(各会議を1回/年以上開催)において、平時における事業効果や、「選択と集中」の考え方を踏まえた港湾事業について、議論を行い、予算等への反映を図る。</p>	<p>①平時における事業効果については、平成24年度新規要求事業のうち、茨城港常陸那珂港区中央ふ頭地区国際物流ターミナル整備事業について、平時の効果と地震時の効果の両面から検討を行った上で、予算案への計上を行った。</p> <p>②「選択と集中」については、平成24年度予算案において、新規要求を行った新規直轄事業(6箇所)について、予算編成過程を通じ、上記①の案件を含む、3箇所に絞り込んだ。</p> <p>また、港湾事業関係予算の中で、国際コンテナ戦略港湾について、引き続き投資の重点化を図った。</p>	<p>交通政策審議会港湾分科会事業評価部会、国際コンテナ戦略港湾検討委員会、国際バルク戦略港湾検討委員会の詳細は別紙</p>